※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版『高等学校　現代の国語』（数研出版）						
副教材等	『漢字ボックス』・『漢字反復ノート』（浜島書店） 『LT 現代文１』（浜島書店）、『プレミアムカラー　国語便覧　改訂版』・『プレミアムカラー　国語便覧　改訂版準拠ワーク』（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この講座では、主に評論教材を中心に扱い、君たちが現代社会を生きていくのに必要な語彙や言葉の運用能力を鍛え、幅広い視野から自律的にものごとを考える力、答えの出ない問題に答えの出ないまま向き合い続ける知的体力を養うことを目標にしています。
・君たちは既に、母語話者としての日本語能力を十分に身につけています。ですから、「自分は国語は分からない」という思い込みは捨ててください。自分が既に身につけている言葉を更に深化拡充することによってどんな世界が開けてくるのかを、君たちには観てほしいと思っています。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	語彙を豊かにし、主張と根拠などの文章の読み取り方をおさえ、文章を書く際にも使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、常に自分と違う他者を念頭に置き、自分の考えを的確に伝えるための論理展開を考えたり、異なる考えを予想したりしながら、自分の思いや考えを深めようとしている。	文章の内容を実社会とのつながりのなかでとらえ、自分の意見をもち、他者との関わりの中で言葉遣いや伝え方など効果的な説明をしようとしている。 また、論理的に的確な表現をしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・意味段落のまとまりを意識して読む 教材 「風が通るとき」	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b【読】：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。	定期考査 ワーク ノート	定期考査 ワーク ノート	ワーク ノート
	・対比の構造を意識して読む 教材 「水の東西」	a:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b:【読】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	小テスト ワークシート ノート
	・対比の構造に着目し、文章中の抽象的な表現について説明する 教材 「倫理と道徳」	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b【書】：「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	ワークシート ノート
	・筆者の主張を踏まえて自分の考えをまとめ、意見交換をする 教材 『「わらしべ長者」の経済学』	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b【読】：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	小テスト ワークシート ノート
2学期	・自分の認識が一面的になっていることはないか、例を参考に話し合う。 教材 「コインは円形か」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b【読】：「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c：筆者の意見や【例】を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査 ワーク	定期考査 ワーク	ワーク

※令和４年度以降入学生用

	・日本語と英語の単語を比較し、認識される対象にどのような違いがあるかを調べる。 教材 「ものとことば」	a:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b:【読】:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
	・言葉のつながりについて考察し、「外部」の人間には伝わりにくい表現を論理的な表現に書き換える。 教材 「論理的ということ」	a:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b:【読】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	小テスト ワークシート ノート
3学期	・コミュニケーションとマニピュレーションがずれる例を考え、話し合う。 教材 「会話という現象」	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b:【話】:「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c:筆者の意見や参考資料をもとに実社会の問題について積極的に考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 〃	定期考査 ワークシート ノート	定期考査 ワークシート ノート	小テスト ワークシート ノート
	・いろいろな意見があってしかるべき「治療の存続を患者自らが決めるものという考え方」について、どのように考えるか意見を発表する。 教材 「科学と生命を考える」	a:実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 b【話】:「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 c:テーマに関連する書籍を進んで読んだり、特定の言葉や概念について調べたりした上で、課題に沿って考えたことを発表しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間